

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	総合センター維持管理事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 渡辺良輔
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線) 1503
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1
	1	10	5	2	10837			コスト削減優先度評価結果	7

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 平成7 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
総合センター「ヴィーブル」の維持管理事業

**【業務の流れ】**  
総合センターの維持管理に係る各種の契約事務、各所の工事営繕、事務用機器の賃貸借、備品や消耗品、燃料の補給などを行い、市民の要望に応じた利用しやすい施設環境を整える。

**【主な予算費目】**  
需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費) 役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 各種公共料金支払、施設清掃管理、空調設備管理、樹木管理(高木剪定)、各システム賃借、吸気式冷温水機修繕、公共下水道接続工事(ふれあい緑地)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 総合センター空調設備改修設計委託
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 物件費の事業費実績額 円 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人口 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 総合センター「ヴィーブル」の施設を快適に利用してもらう	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設に寄せられた苦情・意見 件 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 施設が快適に利用できるようになり、市民の利用が増える	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ設備が整っていると認める市民の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	12,888	22,175	12,606	8,867	12,637	12,637	
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	76,832	79,652	78,143	78,583	75,568	75,568		
	(A) 事業費計	千円	89,720	101,827	90,749	87,450	88,205	88,205	88,205	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340		
	(B)人件費計	千円	5,320	5,333	5,333	5,333	5,333	5,333		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	95,040	107,160	96,082	92,783	93,538	93,538	93,538	
	活動指標	ア イ 円	89,720	101,827	90,749	87,450	88,205	88,205	88,205	
	対象指標	ア イ 人	53,000	54,175	54,500	54,561	55,000	55,500	56,000	
	成果指標	ア イ 件				0	0	0	0	
	上位成果指標	ア イ %	74	74	74	74	74	75	75	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成7年11月に総合センターが開館し、旧合志町における生涯学習施設の一大拠点となり、施設の維持管理が必要になった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
生涯学習、生涯スポーツの一大拠点として、多くの市民に利用され、あるいは全国大会規模の屋内スポーツや県内屈指の文化ホールを利用した催し物など、スポーツや文化芸術面での振興に果たした役割は大きい。  
建築後13年を経過しており、近いうちに設備の一部を経年更新する必要があるが、計画的に整備しないと一時期に莫大な費用を要することになる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
毎年、維持管理経費も多額であるため、施設利用が有効か、快適な施設の環境が保たれているかを問う声が時折議会から出ている。

事務事業名	総合センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 施設の維持管理は、利用者には必要最小限のサービスであり、快適な施設設備の提供は、政策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 総合センター施設を市民全体の財産として活用していくため、必要な維持管理は行政の責任において行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 経年とともに施設の利便性低下を抑えるため、必要な費用を確保していくことで現状水準を維持する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 施設の改修を怠ると、多数の利用者に不快感を与え、次第に施設の安全性を欠くことになり、市民に危険な施設を提供し続けることになる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の施設は他にもあるが、経年も異なり連携や共同の事業実行は困難である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 巨大な施設であり、光熱水費用の無駄を省き、施設設備の近代化改修などの努力で削減は可能である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 管理体制の人的配置は必要最小限であるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 施設利用の際には、受益者負担の原則により施設使用料の負担をいただいている。また平成20年度より、「冷暖房使用料」「シャワー使用料」についてもコインタイマー制としている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性について 施設が巨大であるため維持管理費用も多額であるが、経年とともに費用もかさみ、必要な施設の改修は計画的に行って一時期に多額の投資を要さないようにしたい。 ③効率性について 日頃から経費節減に努め、無駄を省く努力を続けていきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 必要な施設の改修を計画的に行うことで一時期に多額の投資を要さないようにしたい。 また、日頃から経費節減に努め、無駄を省く努力を続けていきたい。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
今後実行すべき施設の改修計画も多額の費用を要すると思われ、財政との折り合いをどうつけるかが課題である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	10	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )